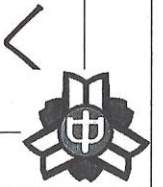


# 己を磨く



第16号  
特別号

R6.3.1 発行  
文責  
神尾進二

学校評価 (十二月実施)

啓発活動

## 校訓到達度評価 (二月実施)

今年度から**自主・共生・創造**の校訓に関連する事項として、それぞれ基本方針を定め、生徒には毎月どのように生活を送ったか顧みるために評価を行ってきました。(結果は毎月HPに掲載しています。)

### ●自主

生徒九〇 保護者八六 教師一〇〇

- ・役割を持って、責任を果たした。
- ・自分の考えを表現できた。
- ・レベル5のあいさつができた。
- ・学力定着に努力した。

### ●共生

生徒九六 保護者九四 教師一〇〇

- ・教室は安心した居場所である。
- ・異なる意見も尊重した。
- ・思いやりを持って行動した。

### ●創造

生徒九〇 保護者八五 教師一〇〇

- ・目標を持って努力した。
- ・自主的に思う存分活動した。
- ・活動後、反省し改善点を見つけた。
- ・学校教育目標「みんな楽しく己を磨く」を支える十項目の方針からなる三つの校訓でした。生徒の皆さんは、この一年間どれほど意識して学校生活を送りましたか。

- 生徒の皆さんのこれからの作業
- 自己評価はどうでしたか。
- 全体を参考に継続点・改善点がありますか。

来年度どうしますか。【重要事項】

### ●意見尊重と思いやり 九九

生徒の評価でも高かった評価です。(保護者の評価では思いやりは高かった。)集団生活の中で不可欠な要素で、今後も大切にしていきたいと考えています。

### ●学力定着 八四

生徒の評価で最も低かった評価です。(保護者の評価は六四だった。)テスト結果ばかり目がいき、過程がどうだったか、あるいは、平均点から考えるばかりでなく、今までの得点から考えてみるなど、視点を変えて考える必要があるのではないかと思えます。

### ●学年差 最大一〇

学年別の肯定的な意見の割合は、一年九〇%・二年八七%・三年九七%となりました。自己肯定感と自己評価能力のバランスは、常に意識していきたい課題の一つです。

### ●これからどうするか

評価が目的ではありません。生徒の皆さん、これから大きな鍵です。

### 参考解説

本紙の数字の単位は全て%です。学校評価・校訓到達度評価は全て四段階評価で、肯定的な意見の割合です。生徒は自分、保護者は自分自身のお子さんが、評価対象となります。教師は自分自身が「生徒が」になるように「努力したか」という質問になっています。

### ●学校経営

生徒九四 保護者九二 教師九五

「己を磨く」の周知徹底の効果だと考えます。次の段階として、いかに目標に向けてどう努力するかが課題です。

### ●心の教育

生徒九二 保護者九一 教師九六

挨拶や言葉遣い、提出期限といった規律面、思いやりや人権教育といった情意面など大変良好でした。生徒の自己肯定感・達成感など様々な活度の成果を明確にするのが大きな課題です。

### ●確かな学力

生徒八七 保護者八六 教師八六

一人一台の学習端末の利用に伴い、様々なICT機器を取り入れた授業形態、AIドリルを利用した課題の出し方など現在試行錯誤の状況です。個に合った学習方法を見つけてるように支援をしていきたいと考えています。

### ●健やかな体

生徒九二 保護者九三 教師八九

コロナ感染症・インフルエンザ・嘔吐下痢症などの感染症や熱中症の予防に追われる状況で、家庭の協力や生徒自身の自覚ある行動で大きく崩れるようなことはありませんでした。今後も、予防策を継続するとともに、生徒自らどうすべきか考える機会にもしていきたいと思えます。

### ●信頼される学校

生徒九四 保護者九四 教師八一

各種通信・HP・テトルや安全安心メール等での啓発活動に努め、情報を発信してきました。PTAとの連携をどのように図っていくかが大きな課題です。

### ●教育環境

生徒八五 保護者八八 教師一〇〇

環境整備に関しては常にベストを心掛けています。(不十分な点があるが)

### 啓発活動

本校の教育活動の学校教育目標という屋根を校訓という三本の柱で支えているものと考えます。どんな色の屋根の学校で、どんな仕組みで、どう柱が支えているか、学校で生活している生徒の皆さんには十分理解しておく必要がありま。同時に、保護者・地域の方にも御理解頂き、協力して頂きたいという期待を込めての取組です。各種調査から「中学校では●●を目指している。」を理解して頂くと幸いです。

### 少数意見にも

全体に紹介する際には、『大まかな傾向』程度しかできません。しかしながら、例えば『全く思わない。一名』でも、学年や回答傾向、理由の検討など即解決にまでは至りませんが、今後の指導の配慮事項に役立てています。

### お礼・HP紹介

前号でも申しましたが、昨年末から学校評価・体罰調査及び校到達度評価など度々御協力頂き深く感謝申し上げます。

なお、学校評価・校訓到達度評価の詳細な結果等は、HPに掲載しています。下のURLを御利用になり、是非ご覧ください。